

## 再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課  
担当課長名：森山 誠二

事業名	SICアクセス 市道山本172号線	事業区分	市町村道	事業主体	鈴鹿市
起終点	自：三重県鈴鹿市山本町字北今辻 至：三重県鈴鹿市山本町字下葦 沢			延長	3.3km
事業概要	市道山本172号線は、新名神高速道路（仮称）鈴鹿PAスマートICへのアクセス道路であり、高速道路アクセスの向上による地域産業の活性化、観光振興の推進、災害時のネットワーク強化を目的として、山本町字北今辻から山本町字下葦沢までの延長約3.3kmを整備するものである。				
平成26年度事業化	都市計画決定	無	平成27年度用地着手	平成26年度工事着手	
全体事業費	約6.2億円	事業進捗率	71%	供用済延長	-km
計画交通量	約2,100台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 5.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 19/33億円 事業費：7.4/21億円 維持管理費：12/12億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 112/112億円 走行時間短縮便益：92/92億円 走行費用減少便益：16/16億円 交通事故減少便益：3.9/3.9億円	基準年	平成28年
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=2.6~4.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.5~7.9(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=3.3~3.4(事業費±10%) 事業費：B/C=5.5~6.0(事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=3.4~3.5(事業期間±20%) 事業期間：B/C=5.8~6.0(事業期間±20%)</p>				
事業の効果等	<p>①地域産業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮）鈴鹿PAスマートICを利用することにより、地域産業であるお茶、花木の短期間で安定した供給が可能となり、地域産業の活性化に繋がる。</li> </ul> <p>②観光客の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートICと市道山本172号線を一体的に整備することにより、高速道路アクセスが向上し、観光客の増加が見込まれる。</li> </ul> <p>③代替性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートICと市道山本172号線を整備することにより、東名阪自動車道が通行止めや渋滞の際に迂回が可能となり、災害時のネットワーク強化に繋がる。</li> </ul> <p>④地域防災の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道山本172号線は、第三次緊急輸送道路と基幹避難所とを繋ぐ災害ネットワーク道路として位置付けられており、災害時のネットワーク強化に繋がる。</li> </ul>				
関係する地方公共団体等の意見	(仮)鈴鹿PAスマートICの事業立ち上げ時から周辺住民との合意形成を図りながら事業を進めている				
事業評価監視委員会の意見	事業継続を認める（平成29年2月17日：三重県市町公共事業評価審査委員会）				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	-				
事業の進捗状況、残事業の内容等（平成28年度末）	用地取得率約94%、事業進捗率約71%				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	残る用地の取得を継続しており（仮）鈴鹿PAスマートICの平成30年度供用に併せて事業完了を目指す				
施設の構造や工法の変更等	経済比較により工事コストの縮減を行っている。また、維持管理費も考慮し総コスト縮減に努める。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由					

